

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：総務地域連携交通常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・令和5年版県政レポートについて、委員会から意見を申し入れた結果、意見が反映されたことは良かった。今後は、実際の実施や予算等に意見が反映されることが大切であり、注視していく必要がある。
- ・南部地域の振興について、県内調査で掘った課題もふまえて議論できたことは良かった。

○年間活動計画について・重点調査項目

- ・重点調査項目に沿った活動ができている。

・県内外調査

- ・重点調査項目に沿って、県内外とも充実した内容で調査が実施できた。
e スポーツや部活動の地域連携、デマンド型交通、熊野古道センター等、様々な調査先で話を聞いたり、実際を見ることで、委員会として現場の現状や課題を掴むことができた。

○その他

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：政策企画雇用経済観光常任委員会

○ 委員会審議の活性化の視点

- ・県政レポートについて活発に討議し、人口減少対策や雇用・観光施策に対する意見等を知事に申し入れた。
- ・「三重県人口減少対策方針」及び「三重県教育施策大綱（案）」について、委員会で慎重に審議・討議をした内容が反映された。

○ 年間活動計画について

重点調査項目

- ・エネルギー政策について、洋上風力発電などしっかりと調査をし議論できた。
- ・産業振興について、中小企業・小規模企業の振興やスタートアップの支援など議論できた。今後も来年度に向けた議論をしっかりとしていきたい。
- ・観光産業について、「歴史・文化」は三重県ならではの地域資源であり、体験型観光としての磨き上げ等、今後も継続して議論ができるよう、所管事項説明の設定において正副委員長にてお取り計らい願いたい。

県内外調査

- ・県内調査では、DXなど新しい分野で活躍する事業所を調査することができ、有意義であった。
- ・県外調査について、議論に活かすことができる内容であって有意義であった。今後、調査内容が議論に反映できるような調査項目の設定を、正副委員長にてお取り計らい願いたい。

○ その他

- ・「県立大学の設置」について、執行部の取組に注視しつつ結論付けに向けた議論を進めたい。
- ・工業研究所の建替えが課題となっているため有志による視察を検討したい。
- ・各都道府県で一斉に取組み始めているスタートアップ支援や観光産業を支える人材の確保・育成について、参考人招致など理解・整理を進めるための機会を検討したい。

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：環境生活農林水産常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・ 6月の常任委員会で引き続き審査とした三重県文化振興条例案の制定にあたり、どういうことが必要かということについて、審議が深まったと思う。
- ・ 三重県文化振興条例案の審議の際に、文化行政についてはもう少ししっかりと議論すべきだったと感じている。
- ・ みえ森と緑の県民税第3期制度については、議論を深めることができたと思う。

○年間活動計画について

・ 重点調査項目

・ 県内外調査

○その他

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：医療保健子ども福祉病院常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・常任委員会では、個人が課題意識を持ち、重点調査項目を中心に委員会の場では意見を積極的に発言する等、活発な委員会審議を行えた点は評価できる。

○年間活動計画について

・重点調査項目

・県内外調査

- ・重点調査項目にもなっている子どもに関する取組や介護・福祉分野の人材確保について、非常に中身の濃い調査ができた。とりわけ、児童相談所の女児死亡事例を受け、7月の県内調査を活用し、中勢児童相談所の現状や人員体制等について職員から聴き取りを行うなど、迅速な調査を実施できた。

○その他

- ・7月27日の児童相談所への県内調査を受け、8月1日の知事への県政レポート申し入れの場を活用して、委員長から知事に対して児童相談所の人員体制や連携体制等の強化について意見交換の場で発言し、早期対応を求めることができた点は評価できる。

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：防災県土整備企業常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・令和5年版県政レポートの調査では、活発な意見交換を行った結果、知事に対して委員長から良い申し入れができた。
- ・委員会審議においても、真摯に議論を行い、的を得た重点調査項目の設定、県内外調査に繋がっている。

○年間活動計画について

・重点調査項目

- ・活発な議論を行い、バランス良く、適切な課題を設定できた。

・県内外調査

- ・重点調査項目に沿って、時宜を得た調査先を設定し、非常に中身の濃い調査を行うことができ、理解も深まった。
- ・昨今の豪雨災害は、50年に1度や100年に1度が頻発するような災害が増えている中、それに関連するような県内外調査を行い、流域治水をはじめ、雨量規制の見直しという観点でも今後議論を深めていきたいと感じている。
- ・災害現場の調査では、現況を見るだけでなく、どういう状況が災害を招いたのか、というところまで踏み込めば、なお良かった。
- ・AIを使った水道管劣化予測診断ツールの内容も素晴らしかったが、先進技術だけに、他のシステムとも比較できるとなお良かった。

○その他

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：教育警察常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・委員が活発にさまざまな考えを交流し意見を出し合うことができた。

○年間活動計画について

・重点調査項目

- ・教員の働き方改革については、子どもの育ちにとって重要であるため、委員会としてもっと調査していきたい。
- ・特殊詐欺被害が増加している中で、委員会としてもその要因や対策について議論を深めていきたい。

・県内外調査

- ・重点調査項目に沿った、充実した内容で、西日野にじ学園など調査した内容をその後の議論に反映させることができている。
- ・県外調査で訪問した株式会社キャリアリンクが実施していた内容は、非常に斬新的で参考になるものであった。
- ・県外調査で広島県警察本部の安全安心アプリオトモポリスの調査をする中で、三重県の犯罪対策の一助となるような示唆をいただけた。

○その他

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：予算決算常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・令和5年版県政レポートについては、知事に対し、県政の重要課題である「人口減少」に関して、戦略的で実効性のある取組の推進と各地域に住み続けられるよう地域の実情を十分に踏まえた対策の推進を申し入れるとともに、「財政運営」に関して、県債管理基金の積み立て不足の早期解消や安全安心のためのインフラ整備といった将来を見据えた投資の検討を申し入れるなど実りあるものとなった。
- ・原油価格・物価高騰対策は喫緊の課題であり、引き続き、国や執行部の動向を注視しながらしっかりと議論していく必要がある。

○年間活動計画について

- ・5月開会会議及び6月定例会会議における補正予算において、国の物価高騰対策に対応するため、迅速に審査・採決することができた。

・重点調査項目

- ・該当なし

・県内外調査

○その他

オンライン模擬委員会の実施について

1 目的

すべての議員にオンライン委員会を疑似体験していただき、オンライン委員会を行う際の円滑な運営に資することを目的とする。

2 実施の方法

(1) 10月31日及び11月1日の各分科会終了後等に、各分科会のオンライン模擬委員会を実施する。

- ・委員長を除く全委員が委員会室での参加とオンライン参加の両方を体験できるよう、オンライン参加委員を入れ替えた形で、計2回行う。
- ・執行部の出席は求めず事務局職員が執行部役をつとめる。
- ・模擬分科会の流れは次のとおりとする。
 - ① マニュアルの確認（書記から説明）
 - ② オンライン参加者は別室へ移動
 - ③ 議案審査の体験（開会、執行部補充説明及び質疑、委員間討議、討論、採決、閉会）
 - ④ オンライン参加者を入れ替え、上記②③を繰り返し行う

(2) 11月28日の本会議（議案質疑）散会後に、全員協議会室で全議員が参加する模擬のオンライン予算決算常任委員会を実施する。

- ・議長は傍聴議員席にて参加し、執行部の出席は求めず事務局職員が執行部役をつとめる。
- ・理事の一部がオンライン参加する形で行うものとする。
 - ※オンライン参加者はあらかじめ別室から参加
 - ① 進行等について説明、採決方法の確認（議事課長から説明）
 - ② 議案審査の体験（開会、総務地域連携交通分科会委員長報告及び質疑、執行部への補足質疑、委員間討議、討論、採決、閉会）

(3) 模擬委員会は非公開とする。

(4) 実施日程を変更する必要がある場合は、正副議長と関係する委員会の正副委員長が協議のうえ決定するものとする。